



徳島大学

マカキ

うん

4-1

宇宙はマ〜マ〜は
ウ〜チュ〜ハッ!! : YAYEN

私たちは
あなたに光を観ようとし、真実を体験し、
それを現そうとします

今回の表紙について:

ウ～、チュ～、ハッはそれぞれが6次元星人(Nマコニ)です。それが一体となって7次元のマ～星人(クメノ)です。ウ～、がリシチュ～、がチャンダスハッ、がデーヴァタそしてマ～、はサンヒターウ～、は遍在！チュ～、は秩序の融合！ハッ、は発動！遍在する秩序が融合し、発動する！よろしくネウ～、チュ～、ハッ！ by NYaN



好きな香りは…パリジャタク

光を生きるあなたへ

光ンヤン

第17回 「成長と進化」

ユソセンヤン ありがとうございます。

心は、成長という経験をします。
一方、気づきは、進化という体験をします。

心が、分からなかったことが分かるようになるのは経験であり、それは成長です。

気づきが、4次元から5次元に目覚め、5次元から6次元に目覚めるのは体験であり、それは進化です。

心の成長と、気づきの進化は同じではありませんが、心の成長は、気づきの進化に不可欠です。

まず、心がさまざまな経験をします。その繰り返しが、気づきの進化という体験になります。

「わからないからする」というのは、気づきがまだその体験をしていないなら、心がその経験をしようとしなさい、ということです。

例えば、他者に光を観ようとする、を聞いたことがない人は、その経験をしようとしなさい。

他者に光を観ようとする、がよくわからなくても、それを心が幾度も試ることで、いつかそれが気づきの体験となり、それを本当に知ることができます。
それが進化です。

例えば、自身の光の質を現そうとする、を聞いたことがない人は、その経験をしていないので、それがわかりませんが、それでも、それを経験しようとすることで、いつかそれを体験し、気づきはそれを知ることができます。

気づきが知らないことを、心が経験しようとする、それが、「わからないからする」です。

心が知っていることをしても、それは気づきの体験、すなわち進化にはなりません。

心がすでに経験済みで、それを知っていることは、記憶の再現であり、カルマの繰り返しをしているだけなので、闇の円環構造を生きているだけだからです。

例えば、気づきがある体験をして、知ったとします。心はそれがわかったことが嬉しく感じますが、その心の経験を心が繰り返し求めようとしてしまうと、それは気づきの体験にはならない、ということなのです。

ですから、いつだって、心がわからないことを経験しようとするのです。

「わからないからする」は、光の円環構造を生きる、ということです。
気づきがまだ体験していないことを、心が経験しようとすることを指しているのです。

ちなみに、「わからないけどする」ではなくて、「わからないからする」ですよ。

ユソセンヤン ありがとうございます



好きな香りは…橙色

第17回 CHIKE CAFEについて

ユソセナシマ ありがとうございます。

今回は、CHIKE CAFEについてお伝えいたします。

KIRが運営しているキオマ食堂では、金曜日と土曜日の午後、CHIKE CAFEがオープンします。店主は、10月1日からキオマ食堂でのランチもご担当することになった、チラテさんです。同じくキオマ食堂でランチをご担当されているロランさんが、サポートに入られています。

季節に合わせたドリンクやお菓子を、店主であるチラテさんがお作りになられます。ご来店いただいた際には、その時々ドリンクやお菓子をお召し上がりいただけます。またチラテさんの手書きイラスト入りで、今までのメニューが描かれているノートがありますので、店主にお声掛けをしていただき、ぜひご覧くださいませ。



CHIKE CAFEは、事前に予約をする必要はありませんが、ご来店のご予定時に、営業をしているかをご確認をされたい方は、KIR今治事務所 0898-39-6817まで、お電話をお願い申し上げます。

ユソセナシマ ありがとうございます。



植物から自然知性を学ぶ

ロヲマ

第17回 今治畑の植物から尊厳を探求してみる

ユソセロヲマ ありがとうございます。

植物にも尊厳があるとしたら、今治畑の植物を見て思うことは、自身の存在というものを知っていて、他の存在に憧れないと感じます。そして、他との成長の違いを比較しないと感じます。それが、自ら然るべきようになるという、自然を生きることだと思います。

人の尊厳というものは、どうなのでしょう。人と植物の違いとしては、自由に意図を持つことができるのは人だけだと言われています。植物は、自身というものを知っており、それは尊厳を知っていると感じます。しかし、人はグラハの時を忘れてしまい、自身が何者であるかを分からなくなり、尊厳も分からなくなっていると思います。しかし、それだからこそ、人は自由に意図を持つことができるのです。人は、自身の存在を完璧に思い出すことで、自身の尊厳を思い出すことができ、さらに、自由に意図を持つことから所有するものに繋がることも感じます。

グラハは、植物と同じように何の迷いもなく自身を生きていると思います。だから、グラハとは、自然の中で自然に生きる存在と言えます。しかし、人はグラハになりたい、グラハに戻りたくて生きているわけではありません。なぜなら、元々グラハであり、人からグラハに戻るだけなら、人間になった意味がなくなってしまうからです。

植物やグラハは、自己の存在を認識し、自然の流れに従って生きることによって尊厳を表現します。他の存在や生活の速度と比較することなく、ありのままの自分を受け入れ、その存在を受け入れることで尊厳を持ちます。人間の尊厳は、意識と自由意志を持つことで複雑になります。私たちは自己を認識し、自身を定義し、理解するために自由意志を使います。しかし、このプロセスは、自己の本質や価値を忘れる可能性があります。それでも、この自由意志こそが、私たちが自己の尊厳を再発見し、それを通じて自己成長と進化を遂げるための道具だと思います。この自由意志とは、多様化とも言えるのかもしれませんが。

私たちは自己の尊厳を自己認識と自己成長のプロセスを通じて探求し、理解することが求められます。自己の完全性を思い出すことで、自己の尊厳を再認識し、自己成長の過程でそれを表現します。表現とは、効力を段階に合わせて使うことだと思います。自己の尊厳を理解し、成長と進化の過程でそれを実現することは、私たちが自己と他者、そして自然との関係を理解し、深めるための重要なステップではないでしょうか。そして、最終的に自己の存在とその価値を認識し、尊重することができるのです。これが尊厳であり、尊厳とは1=3の1であり、全体性があるものだと思います。

ユソセロヲマ ありがとうございます。



好きな香りは…普遍意識を思い出す香

人々に愛や喜びを思い起こす 安心感や幸福感、暖かさを引き出す
自然とのつながりを思い起こす 家族や友人との暖かさを思い出す。等

第17回 大三島のイノシシ

ユソセキマレ

ありがとうございます。

大三島も朝晩も冷え込んできて、そろそろ暖房を入れたくなってきましたが、まだまだ日中は暑さが残っています。

大三島の農家さんたちをいつも悩ませている獣害。

やはりそれはイノシシです。

イノシシは元々、島にいたのではなく島から島へと海を渡ってきているそうです。

イノシシ自体には食べる農作物、食べない農作物があるそうですが、去年食べなかったものを今年には食べられたなどといった話を聞いたりします。

当然、畑の柵などは大三島の畑ではどこでも張り巡らされています。

畑だけにはとどまらず民家の敷地にも入ってきますので、夜になったら柵で入らないように各民家は対応をされています。

大三島では狩猟期間などはなく、年中、捕獲が可能だそうで、年間800頭が捕獲されています。

それでも、イノシシの繁殖力は凄まじく、減ってはいないが増殖は抑えられているそうです。

島という限られた面積の中でイノシシたちはいかに生きていくかをまざまざと見せてくれます。

いかに共生をしていくことを私たちは考えていかなければならないと感じています。

ユソセキマレ

ありがとうございます。



第17回 水やり

ユソセシヲリ
ありがとうございます

シヲリは家のベランダでお米の苗とともにオクラも育てています。コトハ農法士のロヲマさんからいただいたものです。

先日水をあげていると、ふと「オクラに水をあげる行為は光か闇か」という問いが浮かんで来ました。

様々な講座で言われていますが、光か闇かを区別することは大切です。光か闇かというのは行為の形や意味で決まるものではありません。それは良心に基づく善悪の判断であり、チャンダスの価値しか見ていないことです。

オクラを守ろう、なんとかしようとして水をあげるならそれは闇であり、オクラに光を観ようとし、自身の光の質を現そうとして水をあげるなら光です。

講座で学んだ知識と体験が結びつくことで私たちは知識に開かれ、知識が意識に構築されていきます。どんなことから学び、進化のきっかけにすることが出来ます。

ユソセシヲリ
ありがとうございます



第17回 7次元の世界

ユソセメセン
ありがとうございます

私たちが創造する「ルートラーナ」はまさに光の7次元の世界です。
そこには未来も過去もなく、あるのは毎瞬間の創造であり、永遠があるだけです。
永遠とは、時間という枠を超えて、始まりもなく、終わりもない、ということです。

ユソセメセン
ありがとうございます



第17回 食べものの力

ユソセロラン

ありがとうございます

食事に救われたと思ったことが、先日キオマ食堂でありました。それは当日のごはんの創造を終えて、ほえ～となっていたところに、朝のキオマ食堂での健康観察と称したお互いの健康状態を知るバロメーター指数が、ある出来事で一気に低下してきた状態で、ああもうだめかもしれない…と、相方に自己申告すると『ごはん先にいただいちゃおうか』となり、ふたりでいつものように自分たちの作ったごはんを食べていた時のことでした。

椅子に座って暫し放心状態。

オンワの作法の段階で、自身の内側の光さえ見えなくなっていたところ、

みえなくても光は必ずある、とのささやきが。

食欲さえもほとんどなくて気力もなくなって、それでも一口。噛みしめる。よく噛む。

うわあ～美味しい～。と自然に素直に思えて、驚きました。

(この時思わず感嘆の言葉が出てしまった)

美味しいと思ったら、笑顔になっちゃいまして。

そしてもう一口。よく噛んで、ああ～滋養～。これこそ滋養だな～と感じ、さらに笑顔～。

食べものがこんなにからだときもちに染み渡るんだということ、忘れていたような。

結局完食できて食べ終わるころには、萎えた体力も気力も嘘のように抜け殻状態から復活！

間違いなくこの時、大袈裟でなく目の前の食事に救われたと感じていました。

食べものは、そういう力を持っている。

それはいままで感じたことのない感覚でした。

ユソセロラン

ありがとうございます



第17回 その17

ユソセチラテ
ありがとうございます。

CHIKE CAFEがオープンしてからずっと変わらずある、看板メニューっていうんでしょうかね、そのひとつがパーソナルブレンドのハーブティーで、いつもメニューbookの一番最初に書くようにしています。キオ通（ファミ通のノリで）第2号でもお話しさせていただきましたっけ。懐かしな～。

ホットonlyのため、夏のあち一間はひっそり出番待ちでしたが、そんな中でも頼んでくださる方もぼつぼつおいででしたし、初めてチケカフェにお越しくくださる方がオーダーしてくださることが多い、“sightseaing”、別名「あなたに光を観ようとするんだっ茶」で、注文をいただくたびに身が引き締まると申しませうか、ブレンドを始める前に必ず一瞬目を閉じて、自身を静寂に戻す、ということをしています。

ブレンドを始めたら、相手の方のお姿を見ることはなく、目の前にある小瓶や小袋に手を伸ばし、ハーブを小皿の上に並べ、また戻し、というプロセスを淡々と繰り返します。身が引き締まる、という書き方をしましたが、このブレンドに限らず、内側の欣びを現すということを思うと、ためらいやごまかしが効かないからです。

ん？これって何かに似てね？

ユソセチラテ
ありがとうございます。



好きな香りは…くちなしの花の香り。
雨上がりの匂いとか、焼き立てのパンの香りとかもよき。

コトハを学び、ミコトを生きる

ナラユ

第15回 「毎日の日課」

ユソセナラユ

ありがとうございます

皆さん、こんにちは。ナラユです。

今回は「コトハを学び、ミコトを生きる」の第15回です。

皆さんにはどのような日課がありますか？

朝起床してから夜寝るまでの間に様々な日課があると思いますが、とくに朝は、心身を浄化し、内側を整える時間ですので、そのために幾つかの日課を持ちたいものです。例えば、舌苔の掃除、歯磨き、洗顔、排泄、オイルマッサージ、K-PVTの実習などを行っている方も多くいらっしゃいます。

日課は、毎日同じ時間に、同じように行うことが大切です。

最初のうちは、多少努力が必要かもしれませんが、それを続けていると、頑張らなくても自然にやれるようになってきます。内側に静寂を保ったまま、より精妙な状態を感じながらやれるようになってきます。これは、内側の光と響きを感じるようになるということなのです。

なぜ日課を続けていると、自然と同じ時間に、同じように行うことができるようになってくるのでしょうか。それは、その人が明確な意図を持つようになるからです。明確な意図があるから、何の努力もなく、毎日同じ時間に、同じように行うことができるのです。

最小の努力で最大の効果をもたらす、とはこういうことなのだと思います。

ユソセナラユ

ありがとうございます



好きな香りは…サンダルウッド。ガーデニングをしている時の土や草花の香り。

ルートラーナの峠の茶屋

ルツウ

ユソセルツウ ありがとうございます

「愛媛へ移住する」というよりは「ルートラーナへ移住する」という方がじっくりくるこの頃ですが、ルツウもルートラーナへの移住に向けて、皆さまの支援を受けながら少しずつ準備をすすめております。

自身は現在、関東でお茶とお菓子をお出しする店を営んでおりますが、思えば幼い頃から「場所」に憧れていました。万人に開かれた場所というよりは、秘密基地のような場所。

いちばんはじめの具現化は、庭先のコスモスの群生にもぐりこんでこしらえた、ささやかな空間でした。コスモスの中でひとりぼんやりしているのが物足りなくなっていて、お友達を招くこともありました。大人になってからはカフェや珈琲店でアルバイトをしながら、農家の納屋蔵を工夫したり、知人宅一階の元スナックを改装したりしたり、多摩川の河原にシートをしいたりして、そこそこへ、にわか喫茶店を開いたものです。．．．そんなこんなして、やがて、自身のお店という空間を開くようになりました。

しかしコトハの知識に照らすなら、その月日は、同化の光の質にもとづく不純な印象による反応まみれであり、自分に向く効力をどこかで感じながらもできなくて、なんども自我を生きようとしては破壊を受け取り、心を開けず、カルマの円環のなかでモガモガもがいていたわけですが。

それでもコスモスの中で感じた思いの内には真実があり、空間への憧れが枯れることはありませんでした。それらはルートラーナという永遠の空間を創ることへつながる道だったのだなと思えます。

そして今、「峠の茶屋」なるものに憧れています。

お山の峠にある小さなお茶屋さんは、来た道と行く道のはざまにあり、広々とした景色を眺めながらお茶とおだんごで一息ついて、旅人は目的地へとまた歩みを進めます。峠の茶屋のひとつきによって再創造された心はすっきりとし、目的地までの距離はずっと近くなることでしょう。

峠の茶屋はささやかで簡素な佇まいですが、実は時間創造喫茶。他者の支援喫茶。なのかも。

ルートラーナのあちこちに、ルツウは「峠の茶屋」を発見しています。

光に満ちたクリニック、美しくあたたかな食堂、虹のようなカフェ、生命の純粹さの現れる農地、創造の喜び溢れるマーマニユファクトリー、純粹な知識に開かれる講座や勉強会、静寂の中つながるナルワヲの会、ひとつになり飛躍するポート、祝福しあうミーティングやサワエンなどなど。

それらはすべて、ささやかに透明に存在しています。そこは7次元の階層構造が具現化されていて、人々はみんな、自身の内側の光を現し、時間を創造し、他者の進化を支援している尊厳を持った私たち。ルツウもこれからそんな「峠の茶屋」をルートラーナに現していこうとしています。

ユソセルツウ ありがとうございます

好きな香りは…パッションフルーツの香り

見た目の派手さに反して上品で繊細な、幸せな気持ちになる香りです（ルツウ）

第17回 指先から欣びを広げよう

ユソセキリヲ ありがとうございます

前号のキオマ通信は、アレンのメのメの目覚めの期間の初日に発行されました。今日までの間、皆さまの「目覚め」になにか変化はありましたか？

キリヲが目覚めの期間で気づいたことは、同化の質にもいろいろあるぞ、ということです。最近、自我と呼ばれる光の質以外に、自身はとある響きに同化しやすく、それに乘ってしまうと調和を崩すという自覚を持つようになりました。

同化って、たぶん、とても気持ちがよいのです。

気持ちがよいので、自覚を持ってないことも多くて、これを完全に手放せるようになるまでは、この先何度も「同化しては気づく」を繰り返すしかないんだなど、自身の歩みに対して、少しだけ寛容になれた気がします。

そしてメの最後の期間では、「満たされた」と感じることもあり、その「満たされた」に気づいたとき、「満たされた」がとても大きくなっていき、本当は最初から満たされているのかも？という不思議な感覚がわいてきました。

この感覚も、この先何度も「忘れては思いたす」を繰り返すのかな、と思います。

本日からハの期間、目覚めから現した活動を、大きく広げる期間に入ります。

そんな本日、皆さまにとっても明るいお知らせです。

KIRマ~マニュファクトリ~では、2か月前からとある企画を立ち上げておまして、それがこのたび無事に形になりました。

名付けて「指先から欣びを広げようプロジェクト」、マ~のlineスタンプを創造して、指先から**び欣びを広げよう！**という企画です。

スタンプは24柄×2種類。イラストはすべてンヤン先生による新作、描きおろしです。

どのイラストもとても素敵で、送信ボタンを押すとき、とっても嬉しくなってしまうスタンプです。よろしければぜひご入手いただき、大切な方へお送り（贈り）ください。

みなさまの嬉しい気持ち、みなさまの欣びを、指先から大きく広げていただければ幸いです。

(詳しくは次ページをご覧くださいませ)

それでは、次回は約2週間後のレヨネのク、新月の日にお目にかかれますよう。

本号も最後までお読みくださり、まことにありがとうございます。

2023年10月29日、アレンのハ、満月の日に。

ユソセキリヲ ありがとうございます



好きな香りは…湯気の香り。

先日、母から月下美人のつぼみたちの写真が送られてきて、「この晩、最高の香りとともに咲きました」というコメントが…最高の香りってどんなんだ？

マ～のLINEスタンプで
指先から欣びを広げよう

♡ 絶賛発売中 ♡



[いつだって欣びがいっぱい♡マ～スタンプ①]

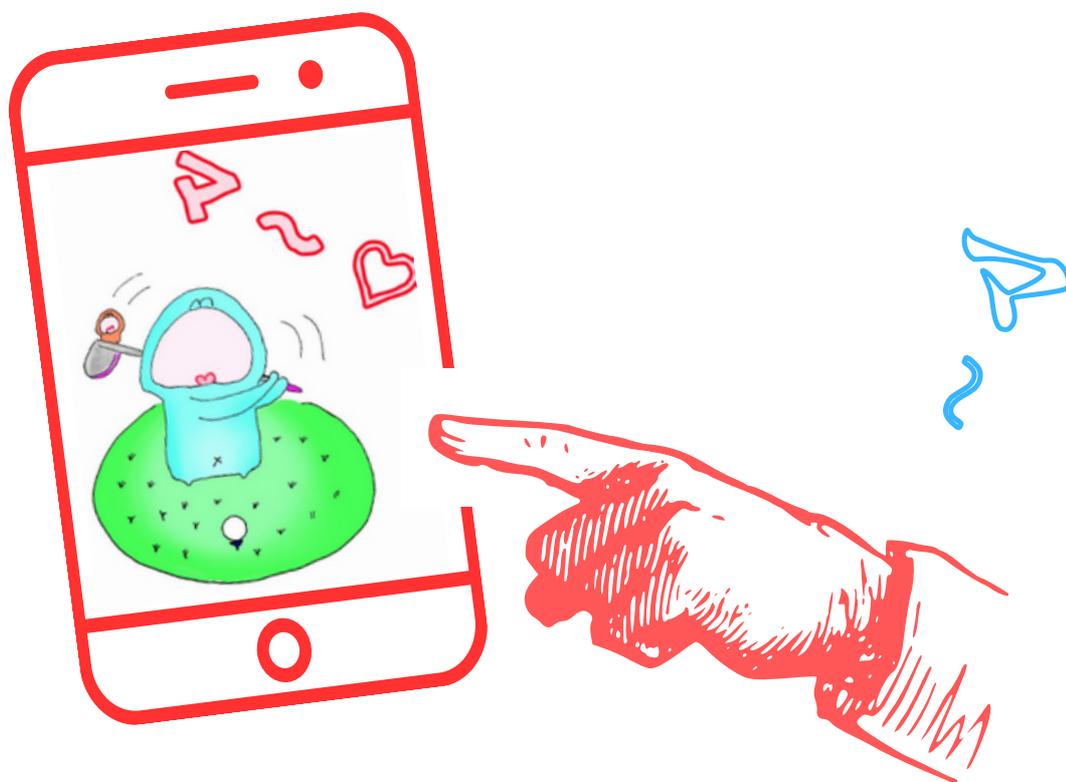
https://line.me/S/sticker/24538084/?lang=ja&utm_source=gnshtickerDetail

[いつだって欣びがいっぱい♡マ～スタンプ②]

<https://line.me/S/sticker/24495397/?>

[lang=ja&utm_source=gnshtickerDetail://line.me/S/sticker/24495397/?](https://line.me/S/sticker/24495397/?lang=ja&utm_source=gnshtickerDetail://line.me/S/sticker/24495397/?)

[lang=ja&utm_source=gnshtickerDetail](https://line.me/S/sticker/24495397/?lang=ja&utm_source=gnshtickerDetail)





KoToHa *Integral Research*